

おむすび通心

第17号
2025年 夏

皆さんこんにちは！

私たちは焼津市の**認知症地域支援推進員**です。本格的な夏を迎え、蝉の声が盛んに聞こえる季節となりました。夏バテ対策をして、今年も元気に夏を乗り切りましょう。

このおむすび通心は、私たち推進員の活動や、焼津市内で行われた取り組みを、より多くの市民の皆さんに知っていただきたく、季節ごと**年4回発行**しています。今回のおむすび通心では、イオン焼津店で開催した「認知症サポーター養成講座」や、スターバックスコヒーで開催された「Dカフェ」、6月に行われた

「焼津市立総合病院 市民シンポジウム」の様子をご紹介します。

ぜひ最後までご覧ください！



イオン焼津店で 認知症サポーター養成講座を開催

5月9、19日イオン焼津店の従業員さんを対象に認知症サポーター養成講座を開催し、新たに29名の認知症サポーターが誕生しました！

「社会と繋がることで、自信を持つことができる」「周囲の理解で、認知症と診断されてからも仕事を続けることができる」など、講座を通して認知症に対する認識が変わったという感想をいただきました。

認知症になっても、自分らしく、希望を持って暮らし続けることができる地域をつくっていくという**新しい認知症観**は、認知症のご本人達からの、人生に対する前向きなメッセージです。

私たち一人ひとりが、新しい認知症観を持つようになれば、認知症の人やその家族は、認知症であることを周囲に伝えやすくなります。



認知症サポーター養成講座とは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、自分のできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成するための講座です。

地域住民、金融機関やスーパーマーケットの従業員、小・中・高等学校の生徒など、様々な方に受講いただけます。少人数でも開催できます。ご希望の方は、講座申し込み先までお問い合わせください。



【講座申し込み先】

焼津市役所本庁舎3階 地域包括ケア推進課
電話：054-626-1219



チームももいろ スタバでDカフェ

(デイーカフェ)



4月23日、スターバックスコーヒー祇宜島店で、チームももいろ主催のD(認知症)カフェが開催されました。この日は、石津西公園みなくるで、グローアップ石津園の園児たちと清掃活動をした後、認知症カフェを開催する予定でしたが、雨天のため清掃活動は中止となりました。参加した皆さんは、園児たちとの触れ合いを心待ちにされていたようで、とても残念がっていました。一つの活動が世代を越えて広がっていくことに力を感じます。次回は秋頃を予定しているとのことでした。



普段、利用している人が少なかったため、オーダー方法やおすすりメニューの説明を受けてから注文しました。ソイラテを注文された方が多く「さっぱりしていて美味しかった」や「次はソイラテにしようかな」など、参加者からの声も聞けました。仲間を過ごす時間は賑やかで充実した時間にみえました。

※Dカフェは、認知症の人やその家族、支援者、地域住民が気軽に集い、交流、情報交換する場所です。Dは認知症のDementiaを意味します。

焼津市立総合病院 市民シンポジウムを開催

6月12日、焼津文化会館小ホールにて、令和7年度第一回焼津市立総合病院シンポジウムが開催されました。「誰もが認知症になりうる時代だからこそ新しい認知症観を」をテーマに副病院長 酒井直樹医師、(株)IOBLG 代表取締役社長平田知弘氏、デイサービスごんべえ B.L.Gやいづ管理者の山田大二郎氏が講演されました。

酒井医師からは「認知症は、早期発見、早期診断、適切な対応で進行を遅らせることが可能であり、MCI(軽度認知障害)の状態で診断されれば回復率は年16〜41%、認知症への移行率は年5〜15%と言われている。認知症予防は、中年期からの生活習慣病の予防が重要」であることをお話いただきました。

平田氏からは「認知症の有無にかかわらず、社会とつながり、社会に貢献し必要とされる役割があり、仲間がいることが居場所になること、新しい認知症観が重要」とお話いただきました。

山田氏からは「メンバーさんが活動を通して社会に貢献することで、やりがいを感じ生きる希望になっている」とお話があり、登壇されたお二人のメンバーさんは「草取りや食堂は、やりがいがあり、喜んでもらえると嬉しいし、頑張れる！前向きになれます！」と、キラキラした笑顔がとても印象的でした。



【発行】

焼津市地域包括ケア推進課
各地域包括支援センター(北部・中部・南部・大井川)

第17号編集/南部